

法律系科目の体系的履修について

法律系科目 体系的履修表

勉学の目的	低 ← 専門性 → 高												コース対応・資格対応	
	Interest 教養として学習			Basic 専門の基礎として学習			Specialized 専門として学習			Advanced 高度な専門として学習				
国家のしくみや人権について学びたい。 (憲法系)	法学概論	入	①	日本国憲法概説	基	①	行政法	法	③	憲法特講Ⅰ・Ⅱ	法	②	法システム	司法試験 行政書士 裁判所事務官Ⅰ種 国家公務員Ⅰ・Ⅱ種
							こどもと人権	法	②					
							税法	法	③					
							公務員と法	法	③					
社会的弱者の保護に対する法的対応を学びたい。 (社会法系)	社会保障と福祉	共	①										ライフ 法システム	社会保険労務士 行政書士
	法学概論	入	①	日本国憲法概説	基	①	女性と社会保障	ラ	②					
				民法総則	法	②	労働法	法	③					
							社会保障法	法	③					
犯罪に対する法的対応について学びたい。 (刑事法系)	法学概論	入	①	現代社会と刑事法	基	①	刑事訴訟法	法	②	刑法特講Ⅰ・Ⅱ	法	③	ライフ 法システム	司法試験 司法書士 国家公務員Ⅱ種
				刑法Ⅰ・Ⅱ	法	②								
	現代社会と犯罪	法	②											
国家間の関係に対する法的対応や外国の法文化について学びたい。 (国際法系)	国際社会と法	共	①										国際理解 法システム	国家公務員Ⅰ種 外務省専門職員
	国際関係論A・B	共	①											
	英米の法と社会	共	④											
	国際関係概論	入	①	国際法Ⅰ・Ⅱ	法	②	国際取引法	法	③					
	法学概論	入	①				国際機構論	国	③					
契約違反や権利侵害に対する法的対応を学びたい。 (財産法系)	法と市民生活	共	①										ビジネス 法システム	司法試験 司法書士 国家公務員Ⅰ種
	法学概論	入	①	現代社会と民事法	基	①				民法特講Ⅰ・Ⅱ	法	②		
				民法総則	法	②	民事訴訟法	法	③					
				財産法Ⅰ・Ⅱ	法	②								
ビジネスに関する法のあり方を学びたい。 (ビジネス法系)	法学概論	入	①	民法総則	法	②	商法Ⅰ・Ⅱ	法	②				ビジネス 法システム	公認会計士
				財産法Ⅰ・Ⅱ	法	②	経済法	法	③					
							知的財産権法	法	③					
							国際取引法	法	③					
家族のあり方と法の関係について学びたい。 (家族法系)	法学概論	入	①	現代社会と民事法	基	①	民事訴訟法	法	③				ライフ 法システム	司法試験 司法書士 裁判所事務官Ⅰ種
				家族法Ⅰ・Ⅱ	基	①								

各種試験対策用履修案

公務員試験・資格試験を目指す場合におすすめの科目	法学概論	入	①	日本国憲法概説	基	①	行政法	法	③	憲法特講Ⅰ・Ⅱ	法	②	司法試験(ロースクール進学) 司法書士 行政書士 国家公務員Ⅰ・Ⅱ種 検察事務官 裁判所事務官Ⅰ種 家庭裁判所調査官補Ⅰ種
				民法総則	法	②	商法Ⅰ・Ⅱ	法	②	民法特講Ⅰ・Ⅱ	法	②	
				財産法Ⅰ・Ⅱ	法	②	民事訴訟法	法	③				
				家族法Ⅰ・Ⅱ	法	②							
				刑法Ⅰ・Ⅱ	法	②	刑事訴訟法	法	②	刑法特講Ⅰ・Ⅱ	法	③	

共 … 共通学芸科目
基 … 法律基礎科目
入 … 入門・概論科目

国 … 国際理解コース科目
ラ … ライフマネジメントコース科目
ビ … ビジネスマネジメントコース科目
法 … 法システムコース科目

① … 1年次設置科目
② … 2年次設置科目
③ … 3年次設置科目

部分は社会システム学科科目